

2021年5月12日

各 位

会社名 株式会社ドラフト
 代表者名 代表取締役社長 山下 泰樹
 (コード番号 5070 東証マザーズ)
 問合せ先 取締役 荒浪 昌彦
 (TEL 03-5412-1001)

業績予想の修正（上方修正）に関するお知らせ

最近の業績動向等を踏まえ、2021年2月15日に公表いたしました2021年12月期第2四半期累計期間（2021年1月1日～2021年6月30日）及び2021年12月期通期（2021年1月1日～2021年12月31日）の連結業績予想について、下記のとおり修正いたしますのでお知らせいたします。

記

1. 連結業績予想の修正について

(1) 2021年12月期第2四半期累計業績予想（2021年1月1日～2021年6月30日）

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 四半期純利益	1株当たり 四半期純利益
前回発表予想 (A)	百万円 3,500	百万円 130	百万円 120	百万円 80	円 銭 8.65
今回修正予想 (B)	3,550	240	240	160	17.30
増減額 (B-A)	50	110	120	80	
増減率 (%)	1.4	84.6	100.0	100.0	

(注) 前期は9ヶ月の変則決算期（2020年4月1日～2020年12月31日）であったため、前期実績は記載していません。

(2) 2021年12月期通期業績予想(2021年1月1日～2021年12月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想(A)	百万円 8,000	百万円 650	百万円 630	百万円 400	円 銭 43.24
今回修正予想(B)	8,300	700	680	440	47.56
増減額(B-A)	300	50	50	40	
増減率(%)	3.8	7.7	7.9	10.0	

(注) 前期は9ヶ月の変則決算期(2020年4月1日～2020年12月31日)であったため、前期実績は記載していません。

2. 修正の理由

当社グループの第2四半期累計期間の売上高は、新型コロナウイルス感染症の影響が長引くなかでも順調に推移し、概ね予想通りとなる見込みです。デザイン性と提案力の高さを背景に特命案件が増加していることから、プロジェクト獲得の効率化と利益体質への転換が進んでおり、利益についても予想を上回る見通しとなりました。販管費及び一般管理費については、旅費交通費等の活動費が当初の想定を下回る見通しです。また、ブランディング活動等の一部の施策を第3四半期以降へ持ち越したこともあり、営業利益、経常利益、親会社株主に帰属する四半期純利益はともに前回発表予想を大幅に上回る見通しとなりました。

一方、当社グループが提案してきた「働く環境の多様化」や「集まる価値のある空間づくり」は、次世代の働き方や暮らしとの親和性が非常に高く、今後も売上高は順調に拡大するものと想定しており、通期の業績予想についても修正いたしました。第3四半期以降は社会活動の制限も緩やかになることを想定し、来期以降の業績拡大へ向けたブランディング活動等を積極的に実施する予定であります。このため、営業利益以下の増加幅は第2四半期累計期間に比べて低い水準としておりますが、年度を通して前回予想を上回る見通しです。

(注) 上記に記載した業績予想数値等は、当社が現時点で入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいております。従って、実際の業績等は業況の変化等により、上記の予想数値と異なる可能性があります。

以 上